

39期生誓灯式を開催しました。

10月23日に39期生の誓灯式が厳かに執り行われました。

「誓灯式」とは、看護に携わる責任の重さを自覚し、看護の道へ進むことを改めて誓いを立てる式として、基礎看護学実習の前に行っています。今年度は、新型コロナウイルスに感染防止対策のため、1年生、学校職員のみで行いました。真っ暗なか、一人ひとりナイチンゲールから灯火を受け継ぎました。

誓灯生代表の杉山さんは、人の命を取り扱う責任と自覚を持ち、患者の利益が最善となるように親身に考え、日々学習することを努力しますと誓いの言葉を述べました。

来月から初めての病院での実習に臨みます。これから先、悩むことやくじけそうになることもあると思いますが、今日の気持ちを思い出し、全員で頑張っていきましょう。

